



塾通信 ひまわり 31号 2025 5月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

新年度がスタートして1か月が経ち、新しい環境で毎日大変だったと思います。特に、小6・中3の生徒さんは、中学・高校に進学して、毎日緊張して学校に行っていると思います。

保護者の皆さんも、お子さんが新しい学校生活に慣れるかとても心配していると思います。大丈夫です！！



生徒さんの様子を見ると、みんな楽しく学校に行っています。まだ慣れていないので、疲れると言っていますが、時間が解決してくれますので、お子さんを信じて暖かく見守りましょう！



1) 4・5月の活動報告

(1)塾の内装工事がほぼ終わりました。

今年で、この場所で塾を開講して、ちょうど10年になります。床などがかなり汚れてきたので、床の張替えをシオユメソウケン（株）に依頼しました、その時に、床の色などを相談して、床の色を変えると壁や天井と色とバランスが問題になりました、より学習しやすい環境にするためには、床・壁・天井の色だけでなく、明かり・机・椅子なども総合的に考える必要になりました。そこで、教室全体の内装工事をする事になりました。

とても綺麗な教室で、生徒のモチベーションが上がることを期待しています。！！



フィリピン人メイさん
シオユメ（株）

(2)KATO塾のきまり・・・別紙

学習効果を高めるためには、教室を綺麗にするだけでは足りません。一番大切なのは、生徒自身が積極的に学習に取り組んでいくことです。

例えば、教科書・問題集を忘れないことです。KATO塾のきまり・ルールも作りましたので、参照してください。児童。生徒さんにも、同じものを配ります。

目標に向かって、頑張りましょう！！



(3)フランス人アドリアンが再度ホームステイに来てくれました。

昨年の1月～3月までホームステイとして塾に来たフランス人アドリアンが、再度来てくれました。

東京国際フランス学校のインターシップ生として、日本にいるフランス人の子どもにフランス語を教えています。

6月10日（火）にフランスに帰国します。今、彼は大学4年生です。来年は大学院に進学予定です。

大学院の学費も無料と言っていました。！！

(4) アメリカ人ルーシーが塾にインターシップ生として来日。

彼は、まだ22歳ですが、もうすでに25カ国を訪れています。日本語は、まったく話せません。話せる言語は、英語のみです。

英語しか話せないのに、世界中の国々に訪問できるのは羨ましいですね。



豊洲から月島まで近いので、「月島もんじゃ」に行きました。フランス人アドリアン・ドイツ人フランツも「もんじゃ」を食べたことがないと言っていました。わたしも、たいへん久しぶりに食べました。(美味しかったなあ～)



もんじゃ

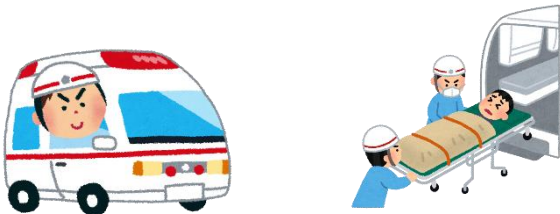
後日、フランツのご両親（ドイツ）から、「息子を病院に迎えに行ってくれたり、医師と話をしてくれてありがとう」とお礼のメールを頂きました。それだけでなく、わざわざご両親が塾にお礼と地元のワインを持って来てくれました。

当たり前のことをしただけなのに、こんなに感謝されて、とてもうれしかったです。



(5) ドイツ人フランツのご両親が塾に来てくれました

5月3日（土）の夕方、17:30 頃都営新宿線の電車の中で。意識を失って倒れてしまいました。すぐ、意識が戻り森下駅で降りて、駅員室に行きました。そして、状況を説明したら駅員の方が救急車を呼んでくれました。



フランツは、日本語をまったく話せないので、救急車の搬送先がなかなか見つかりませんでした。やっと豊洲にある昭和大学病院の救急科に運ばれ、心電図や CT などの検査を受けました。検査で特に問題がなかったなので、帰宅することになりました。フランツから、救急車で病院に運ばれたと連絡があり、慌ててアドリアンと私で迎えに病院に行きました。



会計待ちです。

2)今後の予定

(1)漢検申し込み締め切り日
→5月27日（火）

第1回 漢検日 6月28日（土）

(2) 6月15日（日）大学合同説明会
高校生だけでなく、ぜひ中学生の皆さんも参加してください。

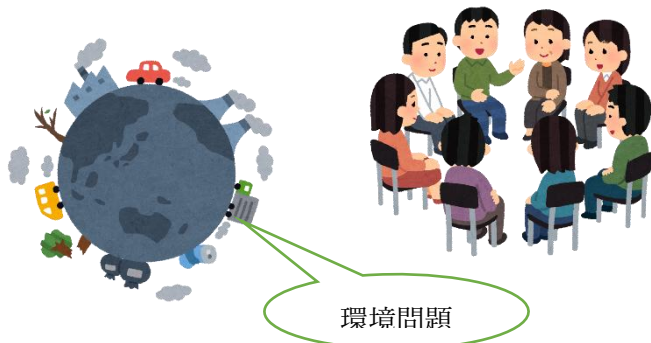
大学で何を学ぶのか・大学卒業後の就職なども、ぜひこの機会に親子で話し合ってみてください。

3)東京大学の挑戦

2027年の9月に東京大学に「カレッジ・オブ・デザイン」の新しい学部が創設されます。教室で学んだことをフィールドバック（現場）で試し、社会の課題を解決していくことを目標にする学部です。



東京大学がこのような学部を作ったことから、他大学も社会の課題を解決するための学部新設や大学教育が専門分野中心に学問を教えていく「形」ではなく、学生の本質的な興味や社会問題の解決から学びを組み立てる「形」に変わっていくと思います。



このような大学教育の変化から、大学入試問題も変化（例：共通テストの問題）しています。

当然、大学入試問題が変われば、高校教育の内容も変わっていきます。そして、高校入試問題の変化・中学入試問題の変化（都立一貫校の適性試験問題が私立中学校でも出題されてきています。）

このように大学教育・入試・高校教育のそれぞれの転換点を迎えています。

保護者の皆さんを含め、教育関係者がこの変化へ対応できるようにしていかなければならない時代になりました。

4)今月のことば

身近な人こそ、喜ばそう！ 1



当たり前のことだけど、ちょっと面倒だけど満員電車やエレベーターで、降りる人のために一歩外に出てあげる、その歩数が、笑顔を作る



笑顔してますか

